

平成 19 年 12 月 5 日

各 位

会社名 国際石油開発帝石ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 黒田 直樹
コード番号 1605 東証第 1 部
問い合わせ先 広報・IR エグゼクティブ・ジェネラルマネージャー 宮本 修平
電話番号 03-5448-0205

国内 9 社共同で石油天然ガス・金属鉱物資源機構（JOGMEC）からの委託により
NGH 海上サプライチェーン事業化調査を実施

当社子会社の国際石油開発株式会社は、11 月 22 日、独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構（JOGMEC）における「天然ガスハイドレート（NGH：Natural Gas Hydrate）を利用した天然ガスの海上輸送サプライチェーン（NGH サプライチェーン）」の公募に、当社を含め 9 社共同で応募し、採択されました。

NGH とは、天然ガスが水分子の中に取り込まれたシャーベット状の固体物質で、体積の 170 倍の天然ガスをマイナス 20 度常圧で安定的に包蔵できる媒体です。安全性が高く、経済的で、環境にも優しい新たな天然ガスの輸送・貯蔵媒体として期待されています。従来から利用されている天然ガスをマイナス 162 度で液化する LNG（液化天然ガス）方式では経済的な開発が困難とされる中小ガス田の開発に適していると期待されており、わが国の資源確保の側面からも技術開発が進められています。

今回の調査は、国内を代表する天然ガス関連の企業が、各社の持つ技術的知見および事業化の各種情報に基づいて共同で検討を行い、NGH サプライチェーンの事業性調査を小規模の LNG や CNG と比較ながら実施するとともに、実用化に向けた具体的な実証試験プロジェクトの計画を立案することを目的とします。

当社は、今回の調査の実施を機に、世界初の NGH サプライチェーンの早期事業化を目指します。

【調査の概要】

1. NGH サプライチェーンの事業性調査
2. NGH 実証試験プロジェクトの計画立案

【実施期間】

平成 19 年 11 月から平成 20 年 3 月

【共同調査実施企業】

全体マネジメント： NGH ジャパン株式会社

上流開発： 国際石油開発株式会社

石油資源開発株式会社

海上輸送： 株式会社商船三井

日本郵船株式会社

NGH 利用： 中国電力株式会社

東京ガス株式会社

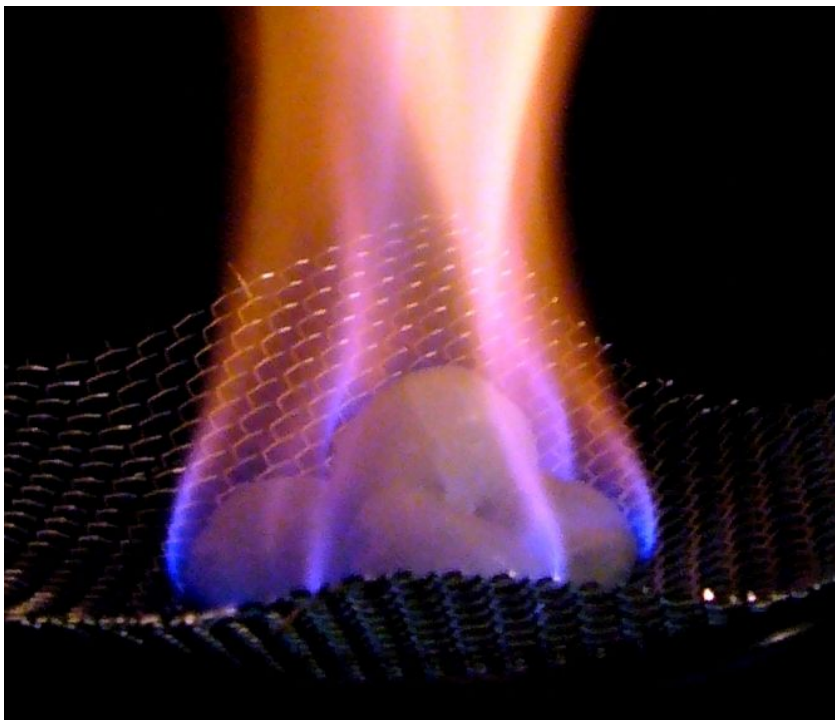
技術開発： 三井造船株式会社

商業化： 三井物産株式会社

以上



NGH 製造・出荷設備イメージ図



人工的に製造した NGH ペレットの燃焼 (燃える氷)